

事業所名

サポートセンター空くろいそ(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2024

年

12

月

1

日

法人（事業所）理念	「障害者の権利条約」の理念に則った、トータル（生涯）サポートの実現		
支援方針	障害の有無に関係なく、地域で安心して暮らしていただけるように、協力機関と連携しながらサポートしていく		
営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	毎日の検温、手洗い、うがいを実施し、当日の健康状態を把握していきます。保護者様と連絡用アプリを用いて、ご家庭での様子も共有していきます。健康増進の為に、食事、睡眠、排泄などの基本的な生活リズムを身につけられるように支援します。生活環境を構造化することで、時間や空間を本人が理解しやすいように工夫して、見通しを持って活動に取り組めるようにします。	
	運動・感覚	作業療法士（OT）によるリハビリテーション活動を取り入れ、微細運動・粗大運動の両面を専門的に支援できる環境を整えていきます。園庭や療育器具を用いて、身体機能の向上を図ります。お子さんが保有する視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に活用し、五感の全てを感じられるように支援します。感覚や認知の特性を考慮して、環境調整などの支援を行い、感覚の偏りに配慮して対応します。	
	認知・行動	ホワイトボードに、当日の日付・曜日・天気・タイムスケジュールを示し、視覚的にその概念が習得できるように対応します。タイムタイマーを用いて。活動の切り換えを視覚と聴覚にて促します。音楽療法（MT）を取り入れ、聴覚や行動面の発達を促します。物の数や量、大小、色や形、重さの違いなどの習得を支援します。認知特性を踏まえて、個々の特性に合った支援を行います。行動障害への予防と対応を支援していきます。	
	言語 コミュニケーション	集団活動を通して、自己理解及び他者への理解を養い、周囲の人と安定した関係を築けるように支援します。遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を促します。言語療法（ST）のリハビリテーション活動を取り入れ、コミュニケーション能力の発達を、専門的に支援できる環境を整えていきます。積極的に地域へ出向き、街の人との交流を通じて、社会的なルールやマナーの習得を支援します。	
	人間関係 社会性	挨拶や感謝などの言葉を適切に習得できるように支援します。小集団活動や協同の遊びを通して、人と関わることの楽しさ、快さを感じられるように支援します。場面に応じた話し言葉やサイン、身振りなどによって、お互いの意思の伝達、意思の疎通が習得できるように支援します。絵カードや文字、記号を活用してその場の環境理解やコミュニケーション能力向上を支援します。個々の特性に応じて読み書き能力の向上を支援します。	
家族支援	対面に限らず、電話や連絡アプリを活用して相談援助を行います。地域交流会や家族参加型の活動を開催し、信頼関係を築けるように努めます。	移行支援	将来的な施設から地域への移行を想定し、日常的に地域の園や学童クラブと交流を図ります。
地域支援・地域連携	保育園、こども園と積極的に交流を図ります。地域交流会や街の行事参加を通じて、施設の活動を理解してもらえよう取り組みます。	職員の質の向上	事業所内研修及び外部研修を通して、スタッフの質と支援能力向上に取り組みます。
主な行事等	お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・遠足・地域交流会・地域で開催される行事への参加など		